

科目名	グローバルコミュニケーション論	授業形態	講義(主)・演習(併用)
英語科目名	Global Communications	開講学期	前期
対象学年	1年次	単位数	2単位
代表教員	齊藤 美野	ナンバリング	GEL501
担当教員	齊藤 美野, 岡部 大祐		
授業概要			
全体内容	コミュニケーション論は、人文・社会科学を中心とした学際領域である。本科目では、「グローバルコミュニケーション」に関連する理論・アプローチを学ぶ。古典的なものから最新の文献までを扱った基本テキスト2冊を講読する。主に人文科学的な領域として翻訳学の知見を、社会科学的な領域として社会言語学や社会心理学の知見を扱う。受講生は、事前準備及び授業内の報告・ディスカッションを大学院生として主体的・積極的・批判的に行い、自らの思考の限界を認識したうえで、拡張することを試みる。受講生同士の相互学習を重視し、講義・文献講読のみならず、報告やターム・ペーパーの相互批評等の活動も行う。		
到達目標	<p>(1) 言語・文化とコミュニケーションの現代社会の諸問題における役割について多角的に考えられる。</p> <p>(2) 「グローバルコミュニケーション」に関わる英語文献を読み、報告・ディスカッションできる。</p> <p>(3) 現代社会の諸問題とコミュニケーションとの関わりについて、学術的知見を活用し、文章で論じることができる。</p>		
授業の位置づけ	基盤科目, 必修科目		
ディプロマ・ポリシー, コンピテンシーとの関連	ディプロマ・ポリシーのうち、「知識と理解 (DP1)」「知識と理解の活用 (DP2)」に関連している。		
履修上の注意, 履修要件	教員の指示に従い、各回の準備を、責任をもって行うこと。 下記のテキスト・参考文献のほか、各回の授業中に紹介する文献も積極的に読むことを期待する。		
成績評価の方法			
評価方法	参加度 (40%), ターム・ペーパー (60%)		
評価基準	<p>参加度：</p> <p>文献講読での報告者を適切に果たしているか; 文献講読での討論に参加し、議論を活性化させているか; 毎回の授業でのリアクション・ペーパーで授業内容の理解が示されているか</p> <p>ターム・ペーパー：</p> <p>文献講読で学んだ概念や理論を適切に活用できているか; アカデミック・ライティングの様式に則って指定テーマを論じられているか</p>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
学期中の課題については、授業中にフィードバックする。学期終了後分については、オンラインツール			

ルを通じてコメントのやりとりを実施する。

テキスト

- a) Munday, J., Pinto, S.R., & Blakesley, J. (2022) *Introducing Translation Studies: Theories and applications (5th ed.)*. Routledge.
- b) Piller, I. (2017). *Intercultural communication: A critical introduction (2nd ed.)*. Edinburgh University Press.

参考文献

- Baker, M., & G. Saldanha (eds.) (2019). *Routledge encyclopedia of Translation Studies Reader (3rd ed.)*. Routledge.
- Blommaert, J. (2005). *Discourse: A critical introduction*. Cambridge University Press.
- Wilce, J. (2017). *Culture and communication: An introduction*. Cambridge University Press.

その他

連絡先・オフィスアワー	連絡先 : mi-saito@juntendo.ac.jp (齊藤), d-okabe@juntendo.ac.jp (岡部) オフィスアワー : (水) 10 : 30~12 : 30 (齊藤), (火) 11 : 00~12 : 45 (岡部)
担当教員の実務経験	なし
備考	学修時間の割当 : 講義 (70%), 演習 (30%)

授業計画

授業回	担当者	授業内容	授業方法※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	岡部 大祐・ 齊藤 美野	オリエンテーション : 本 科目の受講方法につい て, テキスト a 及び b の Ch. 1 を使用し説明する。 また, 「グローバルコミ ュニケーション」が扱い 得る学際的な領域を解説 する。	講義, グループワー ク	【予習】 シラバスを 熟読し, 各指定テキ ストの Ch. 1 を読み, 議論のポイントを考 えておく (120 分)。 【復習】 授業の内容 を踏まえ, 文献を再 読する (120 分)。
2	岡部 大祐・ 齊藤 美野	The Genealogy of Intercultural Communication: 文化と コミュニケーションの研 究の歴史的背景を理解す る (テキスト b Ch. 2)	講義, 反転授業, 発 表	【予習】 文献を読 み, 授業での討論ポ イントを整理してお く (120 分)。報告者 は報告レジュメを作 成する。 【復習】 授業での討 論内容を踏まえ, 文 献を再読する (120 分)。
3	岡部 大祐・	Language and Culture:	講義, 反転授業, 発	【予習】 文献を読

	齊藤 美野	言語やコミュニケーションの文化相対性を考察する (テキスト b Ch. 3)	表	み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
4	齊藤 美野・岡部 大祐	Equivalence and Equivalent Effect: 主要な等価概念の共通項・多様性を学ぶ (テキスト a Ch. 3)	講義, 反転授業, 発表	【予習】文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
5	齊藤 美野・岡部 大祐	Functional Theories of Translation: 翻訳をコミュニケーション・機能という観点から把握する (テキスト a Ch. 5)	講義, 反転授業, 発表	【予習】文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
6	岡部 大祐・齊藤 美野	Nation and Culture: 国家を文化と同一視するイデオロギーについて検討する (テキスト b Ch. 4)	講義, 反転授業, 発表	【予習】文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
7	岡部 大祐・	Intercultural	講義, 反転授業, 発	【予習】文献を読

	齊藤 美野	Communication in a Multilingual World: マルチリンガリズム, 言語学習, 言語選択等と異文化コミュニケーションの関係を考察する (テキスト b Ch. 5)	表	み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
8	齊藤 美野・岡部 大祐	Systems Theories: 翻訳行為と社会文化的コンテクストの関わりを考察する (テキスト a Ch. 7)	講義, 反転授業, 発表	【予習】 文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
9	齊藤 美野・岡部 大祐	Cultural and Ideological Turns: 翻訳学における文化的・イデオロギー的転回を把握する (テキスト a Ch. 8)	講義, 反転授業, 発表	【予習】 文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
10	岡部 大祐・齊藤 美野	Intercultural Communication in a Transnational World: 移動 (mobility) から言語・文化・コミュニケーションの障壁を検討する (テキスト b Ch. 6)	講義, 反転授業, 発表	【予習】 文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120分)。
11	岡部 大祐・	Intercultural	講義, 反転授業, 発	【予習】 文献を読

	齊藤 美野	Communication at Work: グローバリゼーションにより形作られる異文化について社会心理学・社会言語学的な観点から検討する (テキスト b Ch. 7)	表	み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120 分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120 分)。
12	齊藤 美野・岡部 大祐	The Role of the Translator: 翻訳者の不可視性, 倫理, 社会的側面を学ぶ (テキスト a Ch. 9)	講義, 反転授業, 発表	【予習】 文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120 分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120 分)。
13	齊藤 美野・岡部 大祐	Philosophical Approaches to Translation: 翻訳学の哲学的アプローチを検討する (テキスト a Ch. 10)	講義, 反転授業, 発表	【予習】 文献を読み, 授業での討論ポイントを整理しておく (120 分)。報告者は報告レジュメを作成する。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 文献を再読する (120 分)。
14	岡部 大祐・齊藤 美野	ターム・ペーパー (第 1 稿) の相互批評を行う。	講義, 反転授業, 発表	【予習】 ターム・ペーパー (第 1 稿) を執筆する (180 分)。 【復習】 授業での討論内容を踏まえ, 各文献を再読する (120 分)。
15	岡部 大祐・齊藤 美野	ターム・ペーパー (第 2 稿) について教員からの批評を行う。また, 本科目の振り返りを実施し,	講義, 反転授業	【予習】 ターム・ペーパー (第 2 稿) を執筆する (120 分)。 【復習】 授業中での

		今後の展望を探る。		学びを反映し、ターム・ペーパーを完成させる。全授業・テキストを振り返り、理論・概念を確認しておく（300分）。
--	--	-----------	--	---

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合、その内容を明記（PBL，反転授業，グループワーク，討議，発表等）